



# 法の光 (法光山 妙勝寺 通信)

No.265

2022年(令和4年) 1月 1日発行

文責 大岩 清人

— 除夜の鐘 —

妙勝寺ホームページ

<http://www.myosyoji.net/> 又は「法光山 妙勝寺」で検索

明けましておめでとうございます。

本年が穏やかな年でありますよう祈念いたします。

この誌面を持って年始の挨拶とさせていただきます。

賀状を頂きました方に篤く礼申し上げます。

今年、どんなことが待っているのでしょうか・・・。

今年、どんな年にしようと思いですか・・・。

今年、どこへ行ってみようと思いですか・・・。

年の初めに色々と思いをめぐらせませす。

実現できることも出来ない事も・・・思いは自由です。



## オランダの諺

一日、幸せになりたかったら、酒を飲みなさい。

一年間、幸せになりたかったら、結婚しなさい。

永遠に、幸せになりたかったら、庭を作りなさい。

## 開高 健

一時間、幸せになりたかったら、酒を飲みなさい。

三日間、幸せになりたかったら、結婚しなさい。

八日間、幸せになりたかったら、豚を殺して食べなさい。

永遠に、幸せになりたかったら、釣りを覚えなさい。

大晦日の夜、来年はどうしようかな～と布団に入って、シーツの冷たさを感じながら思いをめぐらせる。「お上人さん。もうこの年になると意欲が出てこないんですよ。な～んにもしとなくなるとです。」の言葉も浮かんでくる。その気持ちがわかるようになってきた。でも、まだ意地がある。自然と戯れることが好きな性分である。まずはスキー場へ行こう。春になったら庭の手入れをするか。書道の先生から筆をもらったから雨の日には頑張ってみるか。そうだ。脳トレを兼ねて詰め将棋をやってみるのも良いな～。いやいや友達と何気ない日常のしゃべりが一番かな～。

## お会式 法話より

「私の特徴は大きな声です。」で始まった龍光寺・石原弘淳上人の法話です。自己紹介に始まり、死んだ後どうなるのでしょうか。のお話になりました。「死ぬと49日の旅が待っています。そして七日ごとに生きていた頃の罪が裁かれるのです。そこで辛い思いや責めをうけるのは自業自得・因果応報なのです。」



「佛教では輪廻転生と言いま生まれ変わるのでありますが、過去世の因果を背負って生きています。過去世に良い行いをすると罪の借金は少なく、悪いことをすると借金が多い。現世に借金を返すのですが、悪いことをすれば借金を膨らませてしまうのです。どうすれば私たちの借金を減らすことができるか・・・それは懺悔です。「さんげ」と読みます。キリスト教では「ごんげ」です。反省することが大切なのです。それによって借金は減っていくのです。自業自得と言いました。懺悔によって自分をあらため良き生活をするのが借金を減らすことなのです。そしてなによりも良いのが『南無妙法蓮華経』と唱えて日々を過ごすことです。『南無妙法蓮華経』には借金を減らす大きな力があります。」

「最後に最近よく耳にする言葉があります。次の言葉です。

- ・ 私 の葬儀は簡素が良い
- ・ 私 は散骨が良い
- ・ 私 の墓参りはしなく良い
- ・ 私 の墓が負担になっている
- ・ 私 を想って集まる法事はいらぬ

上の言葉の私を子供かお母さんに替えてみて下さい。

その判断が正しいか相談して下さい。」

テレビで家電製品の紹介をしていた。

「IHIは火力が強いんか？」 「IHIは石川島播磨重工」 「こりゃいかん」

## 法事の後で

お経が終わり「法事を終わります。」と挨拶するとお茶が出された。皆さん方にもお茶が配られ始めた。家人が「どうぞお茶を」と促してくれた。「ありがとうございます。皆さんに配られているので揃うまで待ちましょう。」徐々に行き渡り始めた。目の前の節度のありそうな長老が自分の前にお茶が配られるや否や飲み始めた。「そりゃあかんで」と心でつぶやいた。

私も全員に配られるのを待っている。長老らしい方は心配りが出来ない。ほぼ行き渡ったところで「頂きます。」と口をつけた。長老の評価が崩れていった。

## 年末は辛い時期でもある

年末になると喪中ハガキが何通も届く。高齢の方の旅立ちに「ご苦労様でした。」と手を合わせる。一方、辛い内容もある。

「本年 長男が42才で永眠いたしました。」と教え子から喪中ハガキが届いた。慰める言葉も無く電話も出来ず、そのままの思いで「慰める言葉も見つかりません。冥福を祈るばかりです。合掌」とハガキを出した。

お盆にお経を一緒に読み、楽しく語らい笑ってお別れした方が突然亡くなられたハガキを受け取った。ご兄弟に電話。「ハガキを見て驚いて電話しました。夏お元気だったじゃないですか…。楽しい時間をご一緒しましたし。」「そうなんです。私たちも信じられないんです。今でも顔を見せてくれる思いです。癌だったそうです。でもあまり痛みが無かったようです。」小生の1年先輩。残念ですと電話を切った。楽しく冗談を言っておられた笑顔が思い出された。

お盆の棚経で毎年顔を合わせることを考えた。



## 冬の風情に一喜一憂

寒くなるとピーツという音を響かせ、焼き芋を売りに来てくれる。しかし、今年はその音がしない。「いつまで来れるやわからん。」と早口で笑顔で別れたのが春。今年は早く寒さ到来。

12月に入ってもピーツは聞こえない。残念な思いがあきらめに変わり始めた12月6日3時半頃。「ピーツと聞こえる」と女房。小銭を用意し、耳を澄ませているとあの音が近づいてくる。サンダルを突っかけ「今年も来てくれたんやね。」「みんなが来い言うてくれるで…」

## スケートボードの聖地

東京オリンピックでスケートボードが種目として登場するやいなや、日本の若い選手が多くメダルを獲得しました。TVで中学一年生の女子がスケートボードに挑戦しているのをやっていました。

多くの小学生～高校生が楽しんでスケートボードに挑戦しています。この子供達の頂点が東京オリンピックに出場したのです。

その番組の中で「兵庫県宍粟市にスケートボードの聖地があります。」とその会場が紹介されました。「あれ～いつも外から見ている建物や。」

スケートボードをしている様子は車の中から見ていたのだが、前の道を通り過ぎるばかりです。山崎の町からたつの方向への県道を南下、中国道をくぐると右側に大きな倉庫が駐車場の奥にあります。製麺会社の倉庫を借りて、中を改造されているようです。



中学一年生の彼女も毎週末大阪からこの会場に通って練習しているとのことです。「ここが一番好きなところですよ。目標の選手もいるし・・・」と楽しそうに新しい技の習得をするのが映し出されました。

関西はじめ西日本各地から集まり、知る人ぞ知る聖地だったんですね。

若者が好きなことや目標に向かって努力する姿に涙する。意地を持って叶えようとする姿に心打たれる。一糸乱れぬ集団の動きや鮮やかな筆さばきや奏でる素晴らしいハーモニーの裏に、大変な努力があったらうなと想像し涙する。華々しい発表の機会を持たない若者も多い。ひたすら自分の腕を磨く技術者もいる。とび職はビルが完成した時に仕事の充実感を得るだろうが己が心の内である。道路にあるマンホールを車で通過する時、段差無く通った時、良い仕事をされているな～と感謝する。新幹線が事故も無く走れる裏に保線区の若者の努力がある。みんなそれぞれ努力の花を咲かせている。

## 1月の日程

1月30日(日)	14:00	総代会	客殿会議室
	15:00	総代・世話人会	客殿会議室